

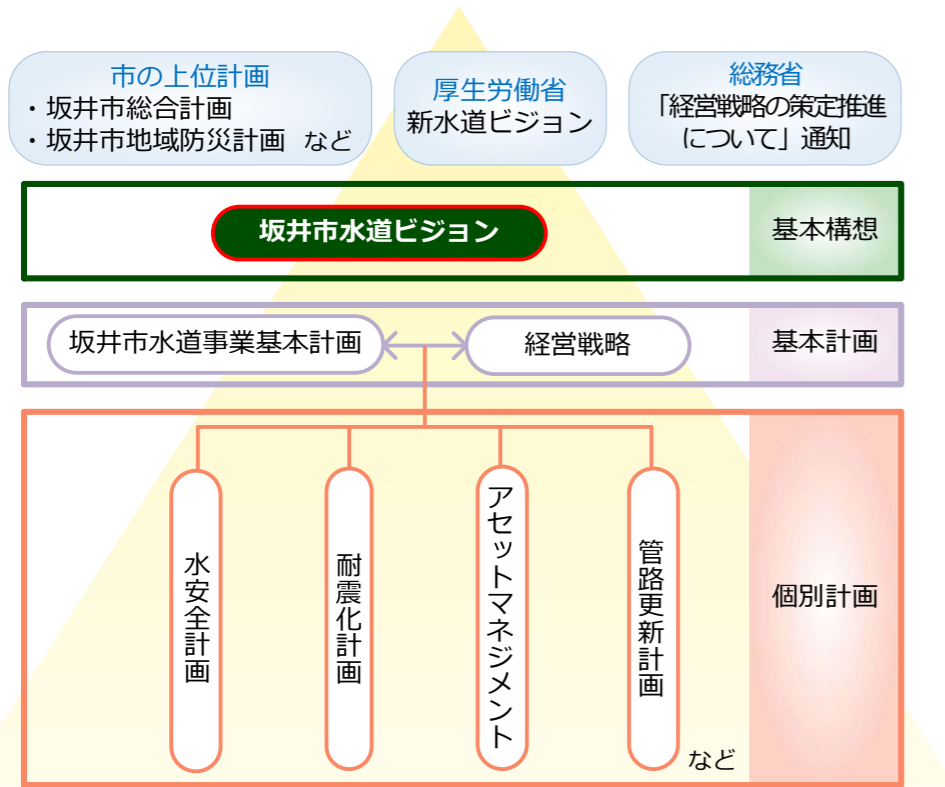
# 坂井市水道ビジョン 概要版

## 1. 坂井市水道ビジョンの必要性と位置づけ

坂井市水道事業は坂井市の誕生とともに合併創設認可を受け、事業を開始しました。その後、「坂井市地域水道ビジョン」や「坂井市水道事業基本計画」の策定を行い、これらの計画にもとづいて、これまで事業を推進してきました。

しかし、近年は、人口減少等に伴う給水収益の低迷、水道施設の耐震化や老朽化対策への投資の増大等、水道事業を取り巻く環境が大きく変化しており、高度化、多様化する課題への取り組みが求められています。

そこで、令和2～11年度を計画期間として、「新水道ビジョン」による新たな視点から見た坂井市水道事業が目指すべき未来とその実現方策を示す「坂井市水道ビジョン」を策定しました。

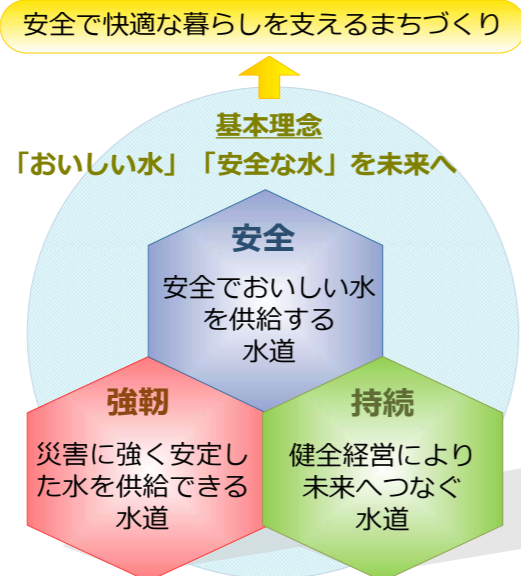


## 2. 基本理念

坂井市総合計画におけるまちづくり基本施策の一つである「安全で快適な暮らしを支えるまちづくり」を推進すること、そして、水道の使命である清浄にして豊富低廉な水の供給を今まで以上に高いレベルで維持することは坂井市水道事業としての基本的な役割であります。

そこで、坂井市水道ビジョンでは、「『おいしい水』『安全な水』を未来へ」を基本理念として掲げます。

また、新水道ビジョンで示されている3つの視点から「安全でおいしい水を供給する水道（安全）」「災害に強く安定した水を供給できる水道（強靱）」「健全経営により未来へつなぐ水道（持続）」を基本方針とし、今後事業を推進していきます。



## 3. 坂井市水道事業が目指す未来

坂井市水道事業の、これまでの施策取り組み状況、現状の課題、将来の事業環境を踏まえて、「安全」「強靱」「持続」の3つの視点から、坂井市水道事業が目指す未来として、今後実施する施策を設定しました。



### 施策① 水質管理体制の強化

#### ◆水安全計画の策定と運用

○水安全計画を令和2年度に策定し、その後運用を行うことにより、安全な水の供給を確実にするシステムづくりを目指します。

#### ◆水質検査の実施

○水質検査の適正化を確保するため、毎年、水質検査計画を策定するとともに市民の皆様へ水道水が安全であることをご理解いただけるよう前年度までに翌年度の計画を坂井市ホームページに公表しています。

○水質検査については、項目ごとの法定で定める頻度で行っており、その結果を毎月坂井市ホームページに公表しています。

○これらの水質検査計画の策定及び法令に準じた水質検査の実施については、今後も継続して行います。



水質検査の様子

### 施策② 水源保全対策の推進

#### ◆水源の適正管理

○現在運用中の井戸については、今後も最大限に活用するため、原水の水質監視と揚水量の確保に努めます。

○毎月各井戸の点検を行うことにより井戸の水質及び揚水量の状態を把握し、必要に応じて適切な修繕や更新を行うことにより能力の維持を図ります。

### 施策③ 耐震化対策の推進

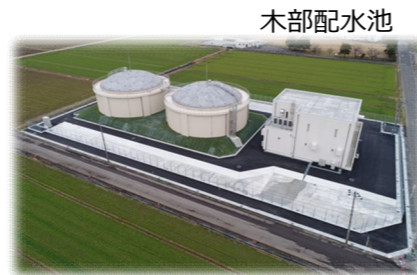
#### ◆基幹施設の耐震化

○現時点で耐震診断が未実施である施設について、耐震診断を実施し、補強の必要性を検討します。

#### ◆基幹管路の耐震化

○事故発生時の影響範囲が大きく、水供給システムを構成するうえでも重要度の高い「基幹管路（導水管、送水管、φ200mm以上の配水管）」の耐震化を中心に行います。

○震災時の給水が特に必要となる基幹病院、避難所等の重要給水施設に供給する管路（重要給水管路）についても優先的に耐震化を進めます。



木部配水池

### 施策④ 危機管理対応の強化

#### ◆応急給水の充実

○非常時には避難所等で応急給水活動を行うため、応急給水活動に必要な資機材を備蓄します。

#### ◆非常時訓練の実施

○坂井市水道事業の職員の防災意識の向上と被災時の応急対応の実効性を高めるために、今後も継続して非常時訓練を実施し、他事業体との合同訓練等についても積極的に参加します。

#### ◆危機管理マニュアルの見直し

○上記のとおり非常時訓練を実施した後は、その訓練の結果を振り返り、課題の抽出やそれらへの対応を検討し、危機管理マニュアルの改訂に取り組みます。

#### ◆豪雪災害への対策強化

○坂井市水道事業では積雪時の水道水供給確保対策として、非常時には契約水量以上の受水を可能とする旨の取り決めを福井県坂井地区水道用水供給事業と交わっています。

○除雪車による空気弁等の水道施設破損事故防止のため、冬季前に除雪路線の水道施設箇所を道路管理者や除雪業者に呼びかける等の対策や、凍結により給水栓が破損しても水が止められるように、積雪量が特に多い山間部の給水施設の位置をデータや写真で残す等の対策を現在行っており、今後も、これらの対策については継続的に実施します。

### 施策⑤ 老朽化対策の推進

#### ◆設備の更新・維持管理

○設備の設置年度や劣化状況等を把握することにより、劣化の進行速度から機器の寿命を予測し、更新を行います。  
○設備の状態や部品の供給状況等を把握し、補修による対応が可能な場合には補修を行い設備の長寿命化を図ります。

#### ◆管路の更新

○管路の更新には莫大な費用と時間を要するため、老朽度のみならず重要度や事故発生時の影響度等についても考慮したうえで、更新優先度の高い管路から順に更新を行います。

○水道資産の大部分を占める管路の更新を行うにあたっては、長寿命管を積極的に採用し、将来の更新需要の低減化を図ります。



管路布設の様子

### 施策⑥ 健全な事業運営の推進

#### ◆経営戦略の策定と見直し

○現状分析と事業環境の見直しをもとに、令和2年度に経営戦略を策定します。

○経営戦略は策定することが目的ではなく、投資計画や財政計画と実績との乖離の検証や、赤字の解消に向けた取り組みが適切に行われているかの検証を行い、必要に応じて見直しを行います。

#### ◆適正な水道料金の検討

○坂井市水道事業は、料金回収率が100%を下回っていることから、適正な料金収入の確保ができていません。

○令和2年度策定予定の経営戦略により、事業運営を継続するために必要な費用の財源として、水道料金の適正化について検討します。

#### ◆アセットマネジメントによる適正な資産管理

○水道施設のライフサイクルコスト全体にわたって効率的かつ効果的に事業運営を行うために、施設運営の最適化と財政負担の軽減・平準化を図るアセットマネジメントの取り組みを行い、整備計画や財政計画を定期的に見直します。

#### ◆広域化・民間委託の検討

○広域化については、日本水道協会中部地方支部で開催する講習会や研修会及び福井県により開催される「水道広域連携推進会議」に積極的に参加し、継続的に議論や検討を行います。

○民間委託については、業務の効率化を目指し、今後も継続して包括的民間委託を実施します。

#### ◆コスト削減の検討

○仕様の見直し、工事工法の見直し及び新技術の活用等を今後も継続的に行うことで、工事コストの削減や、維持管理費の削減に加え、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減等の可能性について検討します。



研修の様子

### 施策⑦ 水道水に対する信頼性の向上

#### ◆人材育成と技術継承

○これまで参加してきた日本水道協会等が開催する技術研修に加え、業務上必要と判断されるその他の外部研修についても積極的に参加します。

○外部研修で習得した知識や技術等について、坂井市水道事業の職員への水平展開をすることを目的に、必要に応じて報告会等の内部研修を行います。

#### ◆情報コミュニケーションの充実

○ニーズに合わせた情報を発信することで、水道利用者の信頼性の向上を目指します。

○今後は災害に対する事前の備えが重要となることから、自助・共助の充実に向けた発信にも取り組みます。

○坂井市水道事業では、水道の成り立ちや水の大切さを子どもたちへ伝えるため、平成30年度に小学校で出前授業を行いました。今後も要請があれば、このような活動を継続して実施します。

